

令和5年度



森林クラフトの素材配布

東京事務所の敷地内で、令和2年度から森林クラフトの素材配布を行っています。地域で楽しみにしている方が多く、「今年はやりますか？」との問い合わせが多かったため、今年度も実施しました。

より多くの方に来ていただきたいため、4年ぶりに木場公園で開催された10月の「木と暮らしのふれあい展」の東京事務所のブースにて、12月に実施する素材配布のお知らせのチラシを配布しました。



去年は11月と12月の2回実施しましたが、今年は12月6日～8日の3日間のみ実施しました。全日とも好天に恵まれ、たくさんの方に来ていただきました。中には「木と暮らしのふれあい展」の東京事務所のブースでは定員がいっぱいで体験できなかったという方や、知人からチラシを見せてもらって来たという方もいらっしゃいました。



毎年来てくださる常連の方々、通りすがりに見かけて立ち寄った方、一回来た後再び友達を連れて来た方など、多くの方に来ていただきました。募金する手持ちが無いからと、再び来てくださる方などもいて大変ありがたかったです。



人気の主な素材は、大人の手のひらほどの大きさの松ぼっくり、ヒノキなどの木の輪切り、カラフルに色付けした木の实などです。また、ムクロジの皮やサイカチの実を水と一緒にペットボトルに入れ、ガシャガシャと振ると石鹸のように泡立つ様子を見せると、「お家でやってみよう!」と目を輝かせる子供もいました。

昨年と同様に、関東森林管理局の広報誌の最新号、東京事務所のホームページで紹介している木造建築物の記事のうち江東区内の建築物を抜粋した冊子なども配布しました。国有林を知らない方が多く、良い宣伝になったと思います。

毎年、散歩の途中で寄ってくれる保育園児からは、今年もお礼にと来年用の手作りカレンダーをいただきました。ありがとうございました。



なお、素材配布時には「緑の募金」にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。募金は公益社団法人国土緑化推進機構へ送りました。